

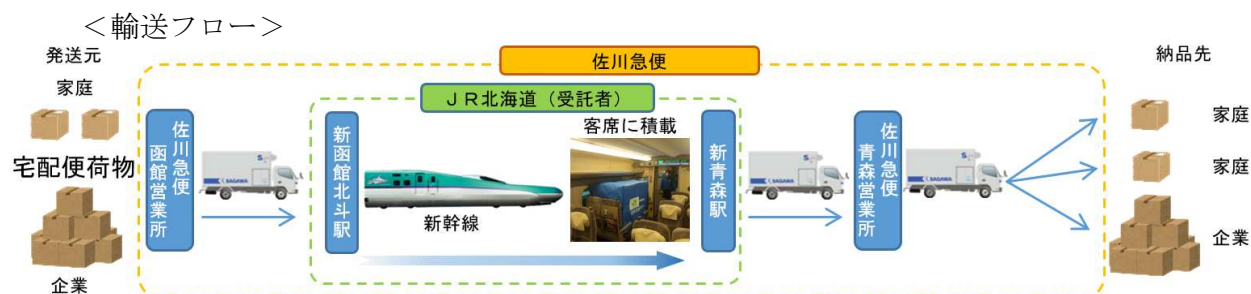
新幹線を使用した貨客混載事業の実績について

当社は、新幹線を使用した貨客混載事業として、2021年3月から佐川急便株式会社（以下、「佐川急便」）と共同で宅配便荷物の輸送事業を開始、2021年4月からはJR東日本グループと連携して生鮮品等の輸送事業を開始しました。それぞれについて、事業開始から2021年9月末までの実績をお知らせします。

1. 宅配便輸送事業

(1) 事業概要

事業開始日	2021年3月24日（水）
輸送区間	北海道新幹線 新函館北斗駅～新青森駅間
輸送列車	一日あたり上り列車1本（平日のみ）
輸送品目	佐川急便の宅配便荷物（最大200kg）
内 容	客席に佐川急便の荷物輸送用ボックス4個を搭載 ※ボックスサイズ 1個あたり80cm×60cm×50cm



- ・新函館北斗駅で、佐川急便函館営業所の担当者が宅配便荷物を入れて持ち込んだ専用ボックスを列車内に積み込みます。
- ・新青森駅で、佐川急便青森営業所の担当者が専用ボックスを列車内から取り下ろします。

(2) 実績

- ・ほぼ毎日、専用ボックス4個を輸送しており、トラブルなく推移しています。
- ・佐川急便の輸送荷物量は日によって異なりますが、荷物内容は比較的小さめのものや書類が多く、平均すると専用ボックス内1～2割の容量を運んでいます。また、荷主様にはリードタイムが短縮（翌日午前中の配達を実現）したことで、ご好評をいただいていると伺っています。

2. 生鮮品等輸送事業

(1) 事業概要

【定期輸送】

事業開始日	2021年4月15日（木）
輸送区間	J R北海道 北海道新幹線 新函館北斗駅～新青森駅間 J R東日本 東北新幹線 新青森駅～東京駅間
輸送列車※	はやぶさ10号（新函館北斗駅6:39発→東京駅11:04着） はやぶさ22号（新函館北斗駅10:53発→東京駅15:04着）
輸送品目	鮮魚及び駅弁

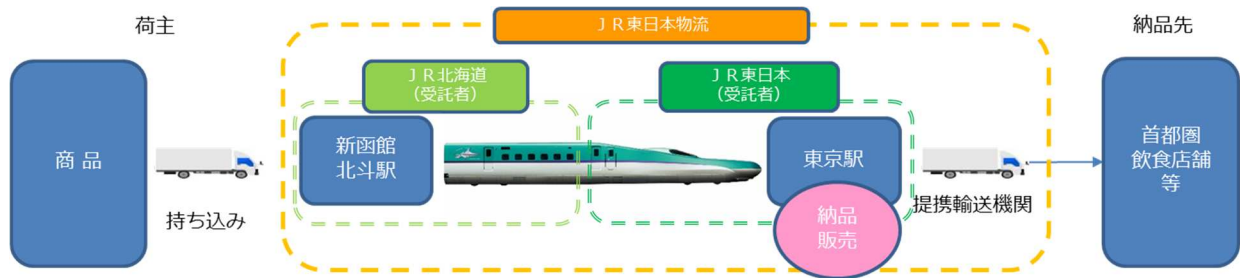
※輸送列車は変更となる場合があります。

【スポット輸送】

販売店でのイベント・フェア等に向けた随時の輸送

輸送品目	鮮魚・野菜・青果・生花等
------	--------------

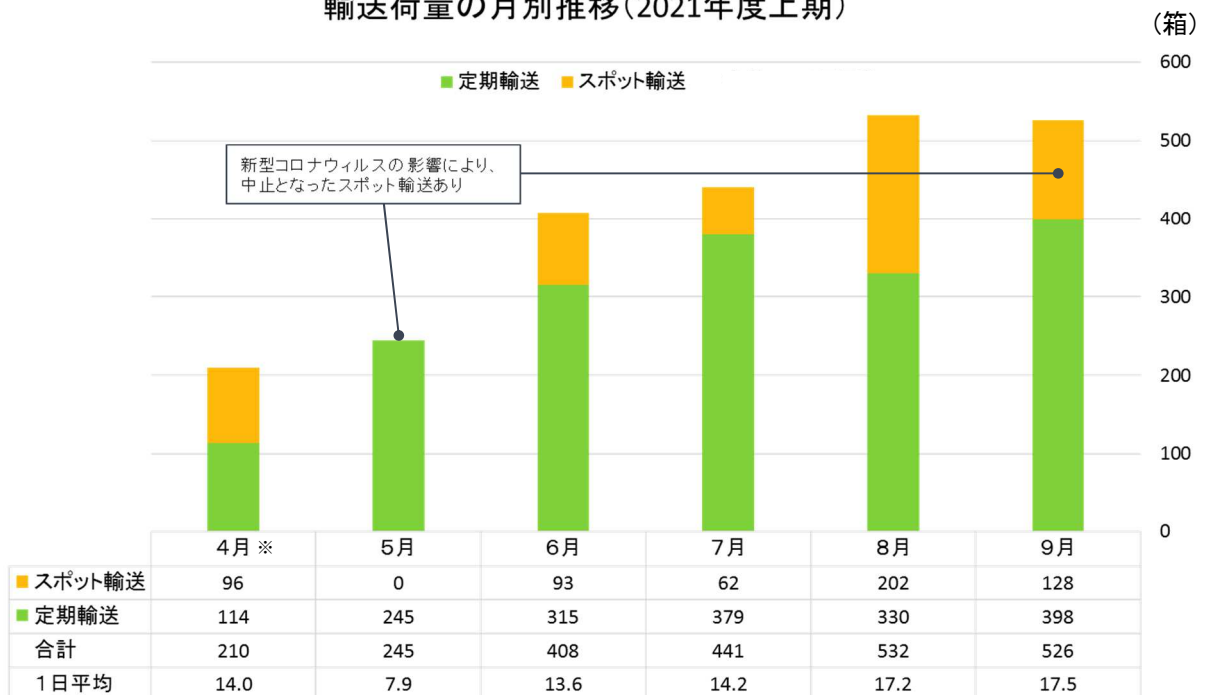
<輸送フロー>



- ・新函館北斗駅に持ち込まれた商品を新幹線の業務用室内空きスペースに積み込み、東京駅へ輸送します。
- ・東京駅で取り下ろした商品は、東京駅構内の店舗や首都圏の飲食店舗等へ輸送し、納品します。

(2) 実績

輸送荷量の月別推移(2021年度上期)



※4月は事業開始した4/15以降の実績

3. 今後について

(1) 宅配便輸送事業

- ・冬期間等においても関係者間の連携を確実に進められるよう、実態確認と検証を継続して行い、新幹線での宅配便輸送を定着させます。
- ・関係者間の意見交換を行い、今後の可能性を検討していきます。

(2) 生鮮品等輸送事業

- ・新幹線の速達性・定時性を生かした北海道の魅力ある商品の輸送により、地産品のPR・販路拡大などを通じた地域の発展に貢献していきます。
- ・先般、東日本旅客鉄道株式会社より公表(2021年10月5日)された荷物輸送サービス「はこビュン」の連携事業者の一員として、当社も「はこビュン」の名称やロゴデザインを宣伝活動や輸送した商品POPなどに活用し、更なる認知度向上と利用促進に取り組みます。

※「はこビュン」は東日本旅客鉄道株式会社で商標登録出願中です。

<ロゴデザイン>



- ・2021年10月9日には、仙台駅-新函館北斗駅間の下りスポット輸送(輸送品目: 梨・ぶどう)を実施しました。今後も、下り列車による輸送の拡大を検討していきます。

<函館駅での催事の様子>



- ・2021年11月には、新函館北斗駅-仙台駅間のスポット輸送(輸送品目: 駅弁)を実施予定です。今後も、輸送区間の拡大を検討していきます。

(参考) 宅配便輸送と生鮮品等輸送の違い

	宅配便	生鮮品等
利用事業者	佐川急便(株)	(株)ジェイアール東日本物流
区間	新函館北斗駅→新青森駅	新函館北斗駅→東京駅 他
積載場所	客席(座席)	業務用室内空きスペース
荷物の発送元・納品先	宅配便利用のお客様	特定の法人